

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

観光おもてなし講座

愛西市に関する文化・歴史など観光について学んでみませんか？

参加無料です。



私に
あいさいを
紹介させて……
♡

©AKR

- ・講座内容は2頁にあります。
- ・第1・2回両日受講者には、終了後に『講座修了証』を授与します。
- ・テキストは『あいさい物語・ジュニア版』を使用します。お持ちでない方は、当日会場にて販売します(¥1,000)。
- ・定員50名、申込の先着順とさせていただきます。参加希望される方は、申込書(2頁)に必要事項を記載の上、愛西市観光協会事務局まで応募下さい(メール、FAX、も可)。

問合せ先・申し込み先 電話：0567-55-9993

あいさい観光おもてなし講座

第1回：2/18（日）（於：文化会館）

9:15- 9:30 受付

9:30- 9:45 開講式・主催者挨拶

9:45-11:15 基礎（愛西市の歴史・文化）

講師：若山 聡

休 憩

11:30-12:00 各論（愛西市特産の蓮根）

講師：清水隆治氏
（清水食品株式会社）

第2回：3/4（日）（於：愛西市中央図書館）

9:15- 9:30 受付

9:30-10:00 各論（佐屋海道と佐屋宿）

講師：岩間 泰彦

10:00-10:30 各論（尾張津島天王祭の市江車）

講師：伊藤 靖彦

10:30-11:00 各論（愛西市のアメリカ移民について）

講師：荻野 弘志

休 憩

11:15-11:45 各論（木曾川観光船）

講師：近藤 文男

11:45-12:00 修了手続き

第3回：3/18（日）（於：愛西市中央図書館）

9:15- 9:30 受付

9:30-10:15 特論（戦国時代における我が地域近傍の歴史）

講師：篠辺 幹雄

10:30-11:00 特論（大浜騒動と諏訪町寺院の関わりについて）

講師：山岡 鉄増

主催：愛西市観光協会・あいさいボランティアガイドの会

後援：愛西市・愛西市教育委員会

.....

申 込 書

氏 名：

連絡先 住所：

電話：

年齢：

『あいさい物語ジュニア版』を（ 有 ・ 無 ）

お持ちでない方は、当日会場にて販売します（¥1,000）。

あいさい観光おもてなし講座

2005（平成17）年に、海部郡の4町村が合併して愛西市が誕生し、2011（平成23）年に愛西市観光協会ができました。その後、愛西市観光協会では愛西市全域の歴史・文化を紹介するガイドブック『あいさい物語』並びに『あいさい物語ジュニア版』を発行しました。あいさいボランティアガイドの会は、木曾川観光船に乗られた方、森川花はす田で開催される「蓮見の会」に来られた方、あいさいフェスティバルなどイベントに参加された方などに愛西市の観光を紹介してきました。さらに、江戸時代に当地を通っていた佐屋海道の佐屋宿、織田信長生誕地である勝幡城など歴史スポットを訪れる歴史マニアのみなさんに現地情報を提供してきました。

しかし、合併により市域が広くなり、市域を縦断するだけでも半時間はかかります。面積が広がると、各地域の生活圏も違ってきますし、背景となる歴史・文化も違いがあります。このため、市域すべての歴史・文化を知り尽くすことは大変です。

その一方で、10年ひと昔と言いますが、この10年の間に、人々の価値観の多様化がさらに進んだと感じています。その結果、愛西市を訪れる人の総数は変化していないと思いますが、目的や対象は変化してきていると思います。

その代表がユネスコの世界文化遺産となった「尾張津島天王祭」です。ここ数年、遠方から祭りを見に愛西市へ来られる方に、織田信長も見たと記録がある500年以上の伝統がある祭礼を紹介してきました。そこで、祭が天王川という川ではなく天王川公園の池で開催されている、山車に飾られているのがからくり人形ではなく能人形が飾られている ことなどに驚かれる、など住民にとっての常識が観光客には新鮮な感動になり得ると知りました。今後もそんな機会は増えると思っています。

2020年の東京オリンピックに向けて、新しい年号に代わる時代、この機会にみなさんも愛西市の歴史・文化を学んでみませんか？

愛西市の新春行事

2月9日（金）より約2週間、韓国の平昌（ピョンチャン）で第23回冬季オリンピックが開催されます。4年に一度の冬季スポーツの祭典であり、関心も高くテレビ観戦する人も多いでしょう。一方、昨年閏月があったために、今年の旧正月は2月16日（金）となり、オリンピックの開催と重なります。今年の2月はどんな話題となるのでしょうか？

愛西市の新春行事（4頁参照）は例年通り予定されています。1月4日（木）には町方町の姥ヶ森神社で茅ノ輪くぐり神事が開催され、茅ノ輪に飾られた御幣（右写真）などを奪い合っていました。2・3月には、二子町定納の白山神社でオビシャ、西條町の勝軍延命地蔵の餅投などがあります。みなさんも一年の無病息災を祈願しに参加されては如何でしょう。



～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

今年の旧正月は2月16日（金）となり、愛西市で開催される新春行事の一部は、例年と比べて開催が遅くなっています。偶然とは思いますが、今年は厳冬となっており例年より春の訪れが待たれます。

- 1月28日（日） 第4回あいさいフェスティバル（於：文化会館）
- 2月11日（日） 定納のオビシャ（於：二子町定納の白山神社、14時頃～）
- 18日（日） あいさい観光おもてなし講座・第1回（於：文化会館）
- 18日（日） 勝軍延命地蔵の餅投（於：西條町の勝軍延命地蔵、16時頃～）
- 25日（日） 烏呼神事（於：津島市の津島神社、14時頃～）
- 3月 2日（金） 管粥神事（於：日置町の日置八幡宮、7時頃～）
- 4日（日） あいさい観光おもてなし講座・第2回（於：愛西市中央図書館）
- 11日（日） オコワ祭（於：勝幡町の勝幡神社、9時半頃～）
- 17日（土） 開扉祭（於：津島市の津島神社、19時頃～）
- 18日（日） あいさい観光おもてなし講座・第3回（於：愛西市中央図書館）

V G 2月定例会の予定

集合時間：2月18日（日）13時～

集合場所：愛西市文化会館

内 容：2018年の事業について

季刊『あまつしま』

海部・津島の教育委員会に所属する学芸員で構成される「海部歴史研究会」が編集・製作している小冊子『季刊あまつしま』は、各市教育委員会、愛西市文化会館、佐織公民館、八開郷土資料室などで入手することが出来ます。

毎年7月から8月にかけて尾張西部地方では子供たちが中心となった「子供ザイレン」という祭礼が実施されており、昨年、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択するよう文化庁に答申されました。昨年の調査結果が『季刊あまつしま』の増刊号に報告されています。愛西市の各町で開催された祭礼も多数紹介されていますので参考にして下さい。

一方、小冊子『季刊あまつしま』の最新号は、愛西市の新春行事が紹介されています。こちらも入手して、愛西市観光の参考にして下さい。



あいさいさん